

第3期宮城県図書館振興基本計画

に係る令和4年度評価

令和5年3月

宮城県図書館

目 次

1	第3期宮城県図書館振興基本計画の点検及び評価について	1
(1)	趣旨	
(2)	第3期宮城県図書館振興基本計画における進行管理	1
(3)	令和4年度における点検について	1
(4)	目標指標の達成率の算出について	1
(5)	自己評価の判定区分について	1
(6)	宮城県図書館協議会による外部評価	1
2	第3期宮城県図書館振興基本計画の構成について	2
3	点検・評価結果について	3
	施策の方向性1	4
	施策の方向性2	6
	施策の方向性3	8
	施策の方向性4	10
	施策の方向性5	12
	施策の方向性6	14
	施策の方向性7	16
	施策の方向性8	18
	施策の方向性9	20
	施策の方向性10	22
	施策の方向性11	24
4	令和4年度の点検及び評価の総括	26

1 第3期宮城県図書館振興基本計画の点検及び評価について

(1) 趣旨

図書館は、「図書館法（昭和25年法律第118号）」第7条の3の規定により、図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならないとされています。また、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年12月19日文部科学省告示第172号）」に基づき、運営の状況に関する点検及び評価を行うよう努めなければならないとされています。

このため、上記の法令に基づき、平成30年度以降における宮城県図書館（以下「当館」という。）が実施する事業に係る点検及び評価を実施します。

(2) 第3期宮城県図書館振興基本計画における進行管理

施策に掲げた取組の実施状況を把握し、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）のPDCAサイクルによる進行管理を行います。また、運営の状況について自己評価及び宮城県図書館協議会による外部評価を行い、その結果に基づいて運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めます。

(3) 令和4年度における点検について

点検については、事業毎の点検を行い、施策の方向性ごとに進捗状況等を明らかにするとともに課題の分析や今後の対応の方向性を示すこととしました。

なお、今回の報告は、令和5年3月31日現在の実績等を踏まえて作成しています。

(4) 目標指標の達成率の算出について

● それぞれ施策毎に目標指標等を次のストック型とフロー型に分類し、対応する計算式により達成率を算出した。

- ・ ストック型：事業活動に伴う成果を累積して把握する指標
(実績値－初期値) / (目標値－初期値)
- ・ フロー型：事業活動に伴う成果を単年度ごとに把握する指標
実績値 / 目標値

※ 目標値を下回ることを目標とする指標の場合などはストック型を準用して算出

(5) 自己評価の判定区分について

施策の方向性を構成する事業の必要性、有効性、効率性を考慮し、目標指標等の達成状況、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、次のとおり判断しました。

- 順調：成果が十分にあり、進捗状況が順調であると判断されるもの。
- 概ね順調：成果がある程度あり、進捗状況が概ね順調であると判断されるもの。
- やや遅れている：成果があまりなく、進捗状況がやや遅れていると判断されるもの。
- 遅れている：成果がなく、進捗状況が遅れていると判断されるもの。

(6) 宮城県図書館協議会による外部評価

今回の宮城県図書館協議会において、当館が作成した最終自己評価を報告した上で評価を決定します。

2 第3期宮城県図書館振興基本計画の構成について

基本方針

県内全域の図書館間ネットワークのより一層の連携・強化に努め、図書館サービスの向上を図ります。また、県民の知る権利を保障し、県民誰もが生涯にわたり学び、互いに高め合い、充実した人生を送ることができる環境づくりを目指します。

目標

- 1 宮城県図書館を中核とした市町村図書館等とのネットワーク体制の充実を図るとともに、全県的な図書館サービスの質的向上に努めます。
- 2 県民のニーズや社会の要請に応えるための充実した図書館サービスを提供します。
- 3 図書館がその機能を十分発揮するための資料・施設・職員の充実を図ります。
- 4 ふるさと宮城に関する資料の収集・保存に努めるとともに、東日本大震災の記録を永く後世に伝えるための取組を行います。

施策の方向性

- 1 市町村図書館等との連携強化及び支援の充実を図ります。
- 2 県内図書館等職員の資質・能力の向上を図り、効果的な研修を実施します。
- 3 学校図書館との連携を推進するとともに、支援の充実を図ります。
- 4 子どもの読書活動を推進するための環境の整備促進を図ります。
- 5 多様な資料・情報の提供に努めるとともに、県民の課題解決を支援する図書館を目指します。
- 6 ボランティアの活躍の場を創り、その力を生かしたさまざまなサービスの提供を実施するとともに、ボランティア活動を支援します。
- 7 公平かつ長期的な視点に立ち、県民が必要とする資料を幅広く収集するとともに、適正に整理、保存し、有効活用を図ります。
- 8 安全安心な施設の維持に努め、県民が利用しやすい環境整備を推進します。
- 9 組織運営の強化に取り組みとともに、創造性豊かで自主的に行動する人材を育成します。
- 10 宮城の郷土資料を後世に伝えるため、収集・保存や修復を行うとともに、利活用の促進を図ります。
- 11 東日本大震災の記録を収集し、永く後世に引き継ぐための取組を行います。

3 点検・評価結果について

施策の方向性		自己評価
1	市町村図書館等との連携強化及び支援充実を図ります。	やや遅れている
2	県内図書館等職員の資質・能力の向上を図り、効果的な研修を実施します。	概ね順調
3	学校図書館との連携を推進するとともに、支援の充実を図ります。	やや遅れている
4	子どもの読書活動を推進するための環境の整備促進を図ります。	やや遅れている
5	多様な資料・情報の提供に努めるとともに、県民の課題解決を支援する図書館を目指します。	概ね順調
6	ボランティアの活躍の場を創り、その力を生かしたさまざまなサービスの提供を実施するとともに、ボランティア活動を支援します。	概ね順調
7	公平かつ長期的な視点に立ち、県民が必要とする資料を幅広く収集するとともに、適正に整理、保存し、有効活用を図ります。	概ね順調
8	安全安心な施設の維持に努め、県民が利用しやすい環境整備を推進します。	概ね順調
9	組織運営の強化に取り組むとともに、創造性豊かで自主的に行動する人材を育成します。	概ね順調
10	宮城の郷土資料を後世に伝えるため、収集・保存や修復を行うとともに、利活用の促進を図ります。	順調
11	東日本大震災の記録を収集し、永く後世に引き継ぐための取組を行います。	順調

第3期宮城県図書館振興基本計画評価シート

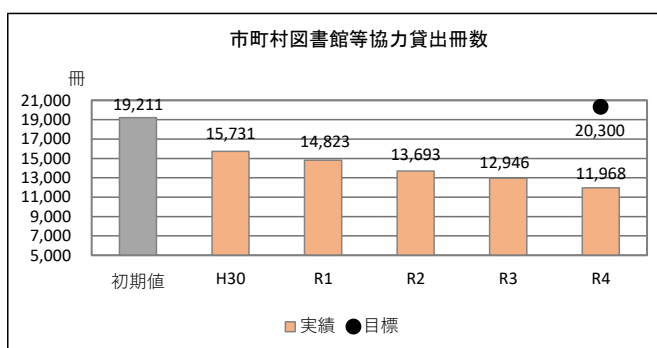
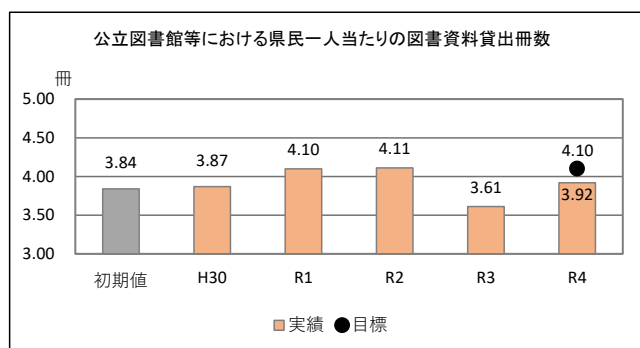
評価対象年度	令和4年度
--------	-------

施策の方向性	1 市町村図書館等との連携強化及び支援充実を図ります。
--------	-----------------------------

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮城県図書館情報ネットワークシステム(MY-NET)を利活用し、当館から市町村図書館等への協力貸出、当館・市町村図書館等間の相互貸借及び情報交換等を行います。 ・ 市町村図書館等を訪問し、各館の現状や課題を把握し、情報の提供や収集及び運営相談、助言等を行います。 ・ 市町村図書館等の住民サービスと利用促進に繋げるため、当館から直接館外貸出を受けた資料を市町村図書館等を通じて返却できるようにし、当館から遠隔地等に在住する県民の利便性の向上を図ります。 ・ 被災した図書館等の地域資料を再整備するため、「みやぎデジタルライブラリー」について継続して取り組み、必要な地域資料の収集と再配布を行います。
------	--

目標指標	※ 「公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出冊数」の実績値については、「宮城県内公共図書館・公民館図書室等現状調査」の数値を用いているため、調査時期の関係上、前年度（令和3年度）実績値を計上する。
------	---

	初期値（平成28年度）	目標値（令和4年度）	実績値（令和4年度）	達成率	
公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出冊数	3.84冊	4.10冊	3.92冊	95.6%	【フロー型】
市町村図書館等協力貸出冊数	19,211冊	20,300冊	11,968冊	59.0%	【フロー型】



構成事業の実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">事業名</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">図書館ネットワークシステム運営事業</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共図書館21市町31館、公民館図書室等読書施設14市町村15室(全市町村)が加入し、本の貸出依頼や諸連絡、情報交換等に活用した。 ・ 図書館情報ネットワークシステムについて、保守業者との定例打合せを6回実施するとともに、課題ごとに随時の打合せを実施し、図書館システムの安定した運営を維持した。 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">協力業務運営事業</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内市町村図書館等への協力貸出を11,968冊、県外図書館等へ618冊貸出を行い、当館資料の活用を図った。また、行政支援サービスとして、県内関係機関2箇所合計43冊の協力貸出を行った。 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">公立図書館等連絡会議</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年3回会議を実施し、公立図書館等間における連携協力や情報交換を図っている。令和4年度は「Webex meetings」を用いて、4月に第1回会議(館長会議)、6月に第2回会議(担当者会議)、11月に第3回会議(担当者会議)をそれぞれハイブリッド型で開催した。 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">巡回相談</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期は、4月・5月に市町村図書館等35館を巡回し、情報提供や運営相談を実施した。 ・ 後期は、9月・10月に市町村図書館等34館を巡回し、情報提供や運営相談を実施した。気仙沼市については、東日本大震災以降、気仙沼図書館と本吉図書館の2館を訪問していたが、令和4年度後期から気仙沼図書館のみの訪問とした。 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">市町村図書館等返却サービス</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠隔地等に在住する県民の利便性の向上を図るため、宮城県図書館の窓口で借りた資料を市町村図書館等で返却することができる制度を実施しており、1,387件5,296冊・点の実績があった。 </td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実績	図書館ネットワークシステム運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共図書館21市町31館、公民館図書室等読書施設14市町村15室(全市町村)が加入し、本の貸出依頼や諸連絡、情報交換等に活用した。 ・ 図書館情報ネットワークシステムについて、保守業者との定例打合せを6回実施するとともに、課題ごとに随時の打合せを実施し、図書館システムの安定した運営を維持した。 	協力業務運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内市町村図書館等への協力貸出を11,968冊、県外図書館等へ618冊貸出を行い、当館資料の活用を図った。また、行政支援サービスとして、県内関係機関2箇所合計43冊の協力貸出を行った。 	公立図書館等連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年3回会議を実施し、公立図書館等間における連携協力や情報交換を図っている。令和4年度は「Webex meetings」を用いて、4月に第1回会議(館長会議)、6月に第2回会議(担当者会議)、11月に第3回会議(担当者会議)をそれぞれハイブリッド型で開催した。 	巡回相談	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期は、4月・5月に市町村図書館等35館を巡回し、情報提供や運営相談を実施した。 ・ 後期は、9月・10月に市町村図書館等34館を巡回し、情報提供や運営相談を実施した。気仙沼市については、東日本大震災以降、気仙沼図書館と本吉図書館の2館を訪問していたが、令和4年度後期から気仙沼図書館のみの訪問とした。 	市町村図書館等返却サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠隔地等に在住する県民の利便性の向上を図るため、宮城県図書館の窓口で借りた資料を市町村図書館等で返却することができる制度を実施しており、1,387件5,296冊・点の実績があった。
事業名	実績												
図書館ネットワークシステム運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共図書館21市町31館、公民館図書室等読書施設14市町村15室(全市町村)が加入し、本の貸出依頼や諸連絡、情報交換等に活用した。 ・ 図書館情報ネットワークシステムについて、保守業者との定例打合せを6回実施するとともに、課題ごとに随時の打合せを実施し、図書館システムの安定した運営を維持した。 												
協力業務運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内市町村図書館等への協力貸出を11,968冊、県外図書館等へ618冊貸出を行い、当館資料の活用を図った。また、行政支援サービスとして、県内関係機関2箇所合計43冊の協力貸出を行った。 												
公立図書館等連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年3回会議を実施し、公立図書館等間における連携協力や情報交換を図っている。令和4年度は「Webex meetings」を用いて、4月に第1回会議(館長会議)、6月に第2回会議(担当者会議)、11月に第3回会議(担当者会議)をそれぞれハイブリッド型で開催した。 												
巡回相談	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期は、4月・5月に市町村図書館等35館を巡回し、情報提供や運営相談を実施した。 ・ 後期は、9月・10月に市町村図書館等34館を巡回し、情報提供や運営相談を実施した。気仙沼市については、東日本大震災以降、気仙沼図書館と本吉図書館の2館を訪問していたが、令和4年度後期から気仙沼図書館のみの訪問とした。 												
市町村図書館等返却サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠隔地等に在住する県民の利便性の向上を図るため、宮城県図書館の窓口で借りた資料を市町村図書館等で返却することができる制度を実施しており、1,387件5,296冊・点の実績があった。 												

事業名	実績
被災した市町村図書館等の復興支援	・「令和4年3月16日発生福島県沖を震源とする地震」の被災状況を確認し、支援等のため、3館に延べ3人派遣した。

自己評価	やや遅れている
<p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出冊数については、前年度から増加したが、3.92冊と目標値に届かなかった。 ・ 協力貸出冊数については、新型コロナウイルス感染症の影響もあることから、減少傾向が続いている。令和4年度は、前年度から978冊減少した。 ・ 連絡会議の開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、従来形式の実施が難しい状況であったが、書面での開催やZoomを用いた研修とするなど、工夫を凝らして効果が上がるように努めた。 <p>以上のことから、各事業の実施状況等を勘案し、本施策の方向性の評価は「やや遅れている」と判断する。</p>	

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全県的な図書館サービスの基盤整備及び拡充に資すべく、事業に取り組んでいるものの、協力貸出冊数は減少傾向が続いている。減少の要因は、新型コロナウイルスの影響も大きいと思われるが、今後目標に対する実績値を向上させるためには、要因を抽出し分析することが必要である。

対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、これまでに得られた知見やノウハウを活かし、事業継続に努めるとともに、オンラインによる助言や情報提供も活用しながら市町村図書館等の活動を支援していく。

協議会委員意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「やや遅れている」とした自己評価は「妥当」である。 ・ 市町村図書館への協力貸出冊数が年々減少し、目標値の6割になったのは残念である。この要因が新型コロナウイルスの影響だけなのか、市町村の蔵書が充実したプラス要因も反映しているのか、分析が必要である。 ・ 「協力貸出冊数」の減少傾向が続いており、市町村図書館等との連携強化と支援充実を図るという施策の方向性に対し、さらに工夫・改善すべき点があるのではないかと。コロナ禍の影響があったとはいえ「やや遅れている」との評価や要因分析にとどまらず、今後の改善に活かしてほしい。 ・ 新型コロナウイルスの影響がどこに残っているか、その他の原因はあるか調査も必要である。 ・ 新型コロナウイルスの影響が大きいと考えられるが、協力貸出冊数の減少傾向にある理由を精査する必要がある。 ・ 協力貸出冊数以外の指標も必要かと思う。 ・ 県民一人当たりの貸出冊数の減少傾向は、新型コロナウイルスの影響もあるかと思うが、電子図書の利用やインターネットで情報を検索していることも関係しているのではないかと。 ・ 協力貸出冊数の減少傾向について、「新型コロナウイルス感染症の影響もあることから」としているが、仙台市の図書館における貸出数は、令和2年度は減少したものの、その後は回復傾向にあることから、新型コロナウイルス以外の要因も探るべきと思われる。

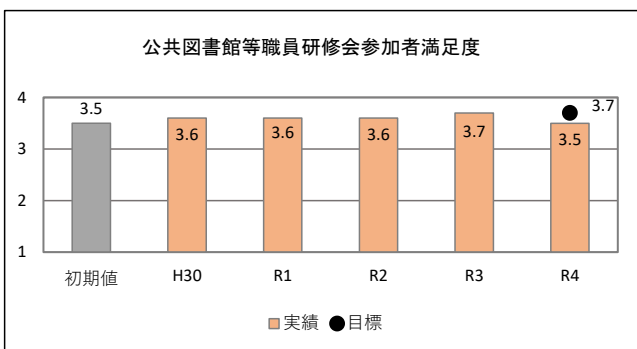
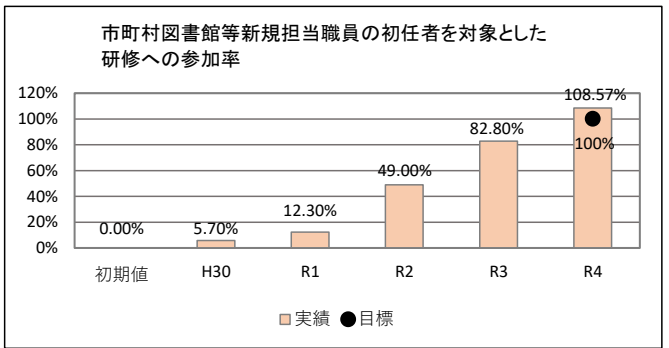
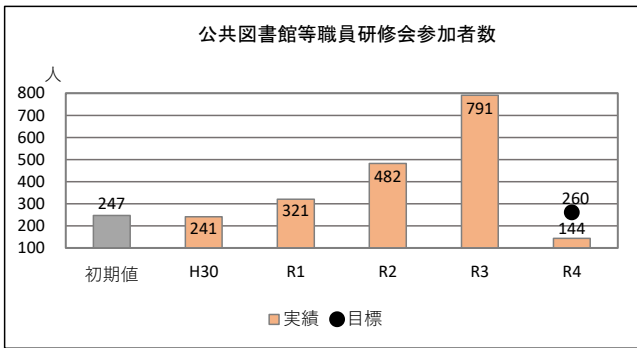
第3期宮城県図書館振興基本計画評価シート

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

施策の方向性	2 県内図書館等職員の資質・能力の向上を図り、効果的な研修を実施します。
--------	--------------------------------------

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 市町村図書館等職員の業務担当者及び公立小・中学校、県立学校図書館担当者を対象に、図書館担当職員としての基礎的な知識の習得のための機会を設け、業務推進の一助となるよう研修会を実施します。 市町村図書館等が実施する研修会へ当館職員を派遣し、市町村における図書館業務の専門的知識習得と技術力向上を支援します。 図書館界の新たな動向や新しいサービスについて、当館職員が学ぶ機会を確保し、市町村図書館等への支援に生かします。
------	---

目標指標					
		初期値（平成28年度）	目標値（令和4年度）	実績値（令和4年度）	達成率
公共図書館等職員研修会参加者数		247人	260人	144人	55.4% 【フロー型】
市町村図書館等新規担当職員の初任者を対象とした研修への参加率		0%	100%	108.6%	108.57% 【ストック型】
公共図書館等職員研修会参加者満足度（4段階評価の平均）		3.5	3.7	3.5	94.6% 【フロー型】



構成事業の実績	
事業名	実績
公共図書館等職員研修	<ul style="list-style-type: none"> 市町村図書館等職員・学校司書等を対象とした研修会を4回実施し、知識と技能の習得を図った。受講者数については、延べ144人の参加があった。 参加者アンケートでは、4段階評価で平均3.5の評価を得た。
出前講座	<ul style="list-style-type: none"> 市町村図書館等業務の専門的知識習得と技術力向上を支援するため、5市町の研修会等に当館職員を6回派遣した。

自己評価	概ね順調
<p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共図書館等職員研修については、第1回研修会を初任者層を対象にオンライン形式で実施し、以降の研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行いながら、集合形式によって実施した。 集合形式での実施に当たり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから、定員を設けて開催したことによって、参加者数は減少(令和3年度比647人減)したものの、実習を含め、遠隔研修ではできない研修を実施し、受講者からも好評を得ることができた。 出前講座については、希望館のニーズに沿った講座を実施した。 <p>以上のことから、各事業の実施状況等を勘案し、本施策の方向性の評価は「概ね順調」と判断する。</p>	

課題
<ul style="list-style-type: none"> 公共図書館等職員研修について、集合して実技を行うものやグループワークなどの内容が、より高い研修効果を得られるケースがある。一方で、動画配信による遠隔研修は、受講者が自身の都合の良いタイミングで視聴できることなどから、外形的には参加者増として事業実績の向上に寄与する側面がある。

対応方針
<ul style="list-style-type: none"> 遠隔研修と対面研修のそれぞれのメリットを活かした効果的で魅力ある研修機会の提供に努める。

協議会委員意見
<ul style="list-style-type: none"> 「概ね順調」とした自己評価は「妥当」である。 集合型の研修は、ワークショップ形式等で行えるので意見などが出やすく、研修の形としては良いと思う。今後、研修会場を県図書館だけではなく、県北・県南などのブロックで行うことによって参加しやすくなるのではないかな。 事業については順調に実施されていると思う。

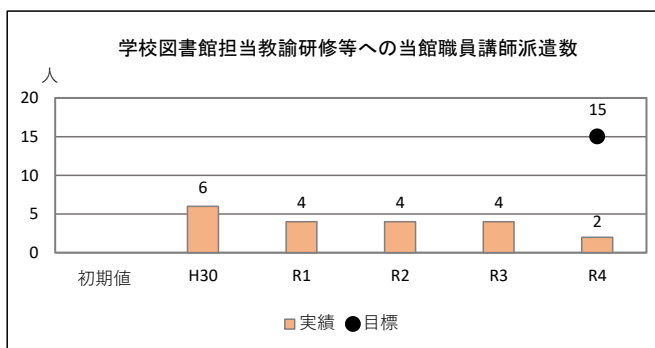
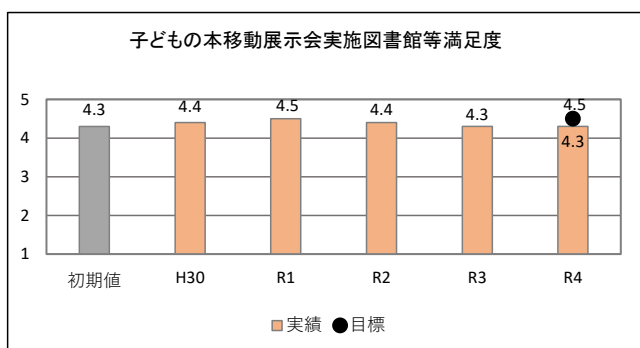
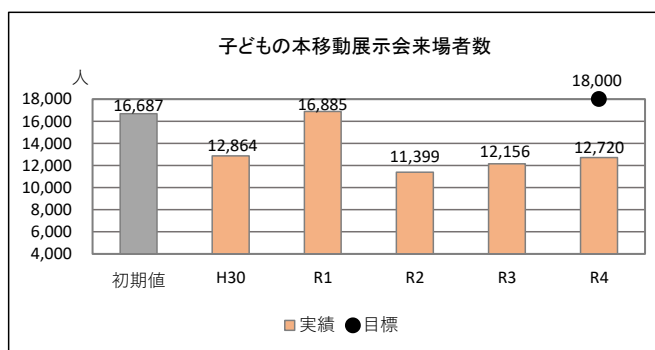
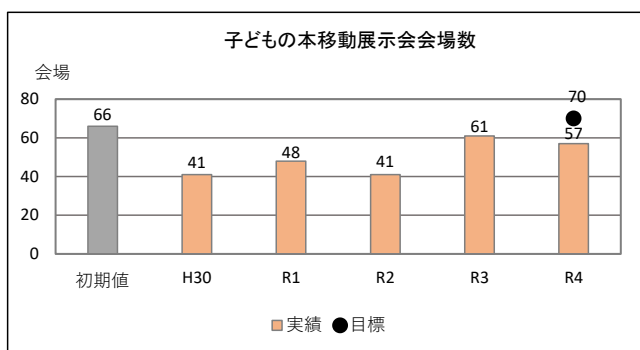
第3期宮城県図書館振興基本計画評価シート

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

施策の方向性	3 学校図書館との連携を推進するとともに、支援の充実を図ります。
--------	----------------------------------

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの本展示会で展示した児童書を貸し出す移動展示会を実施し、児童書のさらなる活用を図ります。 幅広い内容の本をテーマ別・対象学年別に組んだセット資料を市町村図書館等を通して小・中学校に貸し出します。 歴史や文化に親しむ大きな契機とするため、当館が所蔵している貴重資料の複製を県内の高等学校・市町村図書館等に貸し出します。 高等学校及び支援学校等図書館との連携・協力を推進するため、ニーズを調査し、それに応じた支援事業の実施に向けて検討します。 学校図書館担当教諭研修等へ当館職員を講師として派遣することにより、学校司書を対象とした研修との相乗効果を図りながら、学校図書館運営を側面から支援します。
------	---

目標指標					
	初期値（平成28年度）	目標値（令和4年度）	実績値（令和4年度）	達成率	
子どもの本移動展示会会場数	66会場	70会場	57会場	81.4%	【フロー型】
子どもの本移動展示会来場者数	16,687人	18,000人	12,720人	70.7%	【フロー型】
子どもの本移動展示会実施図書館等満足度（5段階評価の平均）	4.3	4.5	4.3	95.6%	【フロー型】
学校図書館担当教諭研修等への当館職員講師派遣数	—	15人	2人	13.3%	【フロー型】



構成事業の実績	
事業名	実績
子どもの本移動展示会	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの本展示会で展示した2021年の新刊児童書200冊を1セットとし、県内市町村図書館や公民館図書室21館へ29セット、小中学校、特別支援学校36校に40セットを貸し出した。

事業名	実績
学サポセットの貸出	<ul style="list-style-type: none"> 市町村図書館等と小中学校との協力・連携への側面的支援のため、テーマ別、学年別の児童書セットを5市町村5館に延べ37セットを貸し出した。
複製資料貸出事業	<ul style="list-style-type: none"> 県内の高等学校や市町村図書館等延べ21箇所、坤輿万国全図などの複製資料31点を貸し出し、著名な資料や郷土の文化の発信に努めた。
学校図書館運営サポート事業	<ul style="list-style-type: none"> 「相互貸借貸出サービス」については、1校の利用があった。
公共図書館等職員研修（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> 市町村図書館等職員・学校司書等を対象とした研修会を4回実施し、知識と技能の習得を図った。受講者数については、延べ144人の参加があった。 参加者アンケートでは、4段階評価で平均3.5の評価を得た。

自己評価	やや遅れている
------	----------------

理由	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの本移動展示会については、各施設ともに新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながらの実施となった。前年度と比較して、実施会場数は減少したものの来場者数は増加した。実施図書館等における満足度は、目標値をやや下回った。 学校図書館担当教諭研修等への当館職員講師派遣数は、目標値の15人に対して派遣数2人と少ないものの、公共図書館等職員研修の受講対象者に学校司書等も対象としており、知識と技能の習得のサポートを支援している。公共図書館等職員研修には、県立学校から22人の参加があった。 <p>以上のことから、各事業の実施状況等を勘案し、本施策の方向性の評価は「やや遅れている」と判断する。</p>
----	---

課題	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館支援の拡充として、令和3年度から、相互貸借貸出サービス、出前講座等を行うこととしたものの、実績に結びついていない。
----	--

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館のニーズの把握に努めるとともに、積極的に周知・広報し、連携・協力の機会を模索する。
------	--

協議会委員意見	<ul style="list-style-type: none"> 「やや遅れている」とした自己評価は「妥当」である。 学校図書館運営サポート事業が、学校側に理解されていないことが課題ではないか。 研修のタイトルなどの一覧があると良い。 「公共図書館等職員研修」について、学校図書館に配置される図書館司書の任用が自治体によって差があり、連携推進に至らないところもあるのではないか。 学サポセットを積極的に利用してもらえるような工夫があっても良いのではないか。 学校におけるデジタル資料の利用拡大の観点から、デジタル資料利用の研修会等を開催してみてもどうか。叡智の杜Webのデジタル資料など、多様な資料の利用にも繋がるかと思う。 「概ね順調」でも良いのではないか。目標値に達しなかった学校図書館担当教諭研修への講師派遣数は、自己評価に記されている内容であることや昨年度とほとんど変わっていないことを含めて「概ね順調」が妥当であると思う。 学校図書館担当教諭研修等への講師派遣や相互貸借貸出サービス、出前講座など、様々な事業を実施しているものの、利用が少ないことが残念であり、ニーズを捉えた効果的な広報周知が必要である。
---------	---

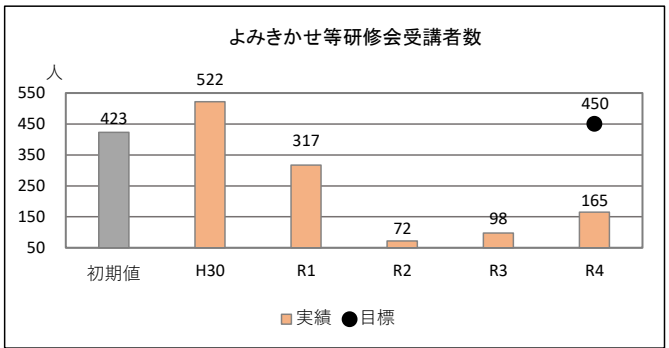
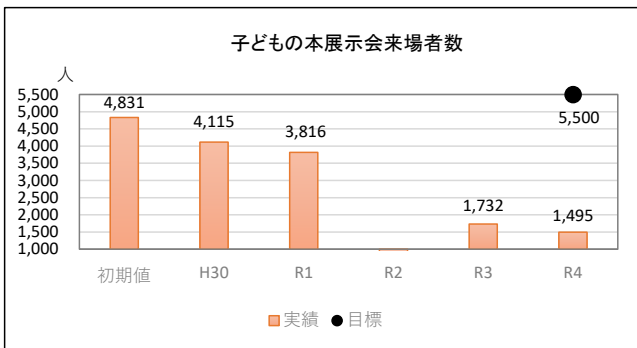
第3期宮城県図書館振興基本計画評価シート

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

施策の方向性	4 子どもの読書活動を推進するための環境の整備促進を図ります。
--------	---------------------------------

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの読書環境や読書活動促進のため、児童書や児童文学賞作品、「小中学生のための読書案内『本のいずみ』」に紹介した資料を展示する「子どもの本展示会」を開催します。 子どもの読書活動を推進する担い手の育成とさらなる資質向上を目的として、おはなし会を行う基本的知識と技能を習得するための研修を実施します。 図書館を身近なものに感じてもらうための夏休み親子ツアーを実施します。 児童資料研究・相談室については、時代のすう勢を再確認しながら、利用の在り方等を検討します。
------	--

目標指標					
	初期値（平成28年度）	目標値（令和4年度）	実績値（令和4年度）	達成率	
子どもの本展示会来場者数	延べ4,831人	延べ5,500人	延べ1,495人	27.2%	【フロー型】
よみきかせ等研修会受講者数	延べ423人	延べ450人	延べ165人	36.7%	【フロー型】



構成事業の実績	
事業名	実績
子どもの本展示会	<ul style="list-style-type: none"> 次世代を担う子どもたちの読書環境整備や読書活動促進のため、前年出版の児童書約2,000冊とテーマ展示として、2021年児童文学賞受賞作品や小中学生のための読書案内「本のいずみ」で紹介している本の展示を4月22日(金)から5月11日(水)の期間で新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行いながら実施し、延べ1,495人の来場者を得た。
よみきかせ等研修会	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの読書環境を推進する担い手の育成とさらなる資質向上を目指し、おはなし会を行う際に必要なよみきかせ等の基礎知識と技能の修得を図るため、年間9回研修会を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行いながら実施し、延べ165人が受講した。
夏休みお仕事体験ツアー	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。
学サポセットの貸出(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> 市町村図書館等と小中学校との協力・連携への側面的支援のため、テーマ別、学年別の児童書セットを5市町村5館に延べ37セットを貸し出した。

事業名	実績
複製資料貸出事業（再掲）	・ 県内の高等学校や市町村図書館等延べ21箇所、坤輿万国全図などの複製資料31点を貸し出し、著名な資料や郷土の文化の発信に努めた。
子どもの本移動展示会（再掲）	・ 子どもの本展示会で展示した2021年の新刊児童書200冊を1セットとし、県内市町村図書館や公民館図書室21館へ29セット、小中学校、特別支援学校36校に40セットを貸し出した。

自己評価	やや遅れている
------	---------

理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの本展示会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながら開催することができた。対策として、会場出入口で手指のアルコール消毒や短時間での利用に協力を求めたこと、会場内にイス・ベンチ等、座って本を読める環境が少なかったこともあり、来場者数は目標値を大きく下回った。 ・ よみきかせ等研修会については、計画どおり年間9回開催した。受講者数は前年度から増加し、受講者からは高い満足度が寄せられたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、1回当たりの募集人数を指標策定時の50人から20人に減らして実施したため、受講者数が目標値を大きく下回った。 <p>以上のことから、各事業の実施状況等を勘案し、本施策の方向性の評価は「やや遅れている」と判断する。</p>
----	--

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童資料研究・相談室の利用については、ホームページへ掲載し、県内の市町村や大学等にも案内しているが、利用の希望がない状況が続いており、豊富な児童資料の活用を図る方策が求められる。
----	---

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童資料の活用や研究について、関係機関のニーズを把握し、今後の活用の方向性とニーズに応じた環境整備等を検討する。
------	--

協議会委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「やや遅れている」とした自己評価は「妥当」である。 ・ せっかく子どもの本の展示を行うのだから、来場者が落ち着いて本を手に取り、読むことができる環境を整えることが大切である。それにより、リピートして足を運んでもらえるようになると思う。 ・ 新型コロナウイルスの影響がどこに残っているか、その他の原因はあるか調査も必要である。 ・ 児童資料研究・相談室のホームページに特色や資料の内容が具体的に掲載されていると分かりやすい。 ・ 担い手育成のよみきかせ講座は、基本的知識と技能を習得する研修とスキルアップするための研修を段階別実施することを検討してはどうか。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響があることは分かるが、子どもの本展示会来場者数が減っていることは残念で、子どもの読書活動を推進することの重要性を考えると「遅れている」が妥当である。全く成果がないわけではないが、進捗状況は遅れていると感じる。
---------	---

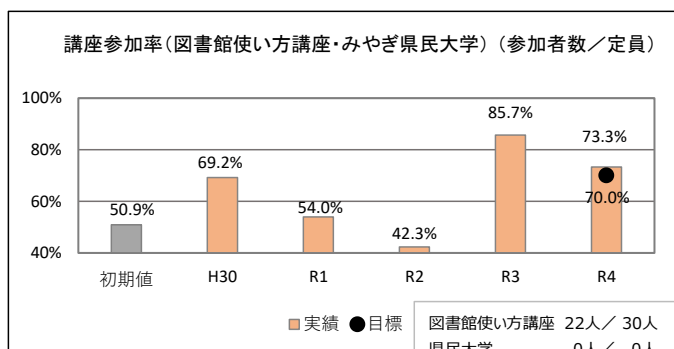
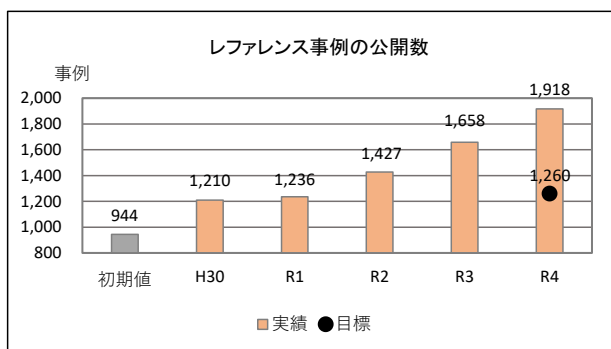
第3期宮城県図書館振興基本計画評価シート

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

施策の方向性	5 多様な資料・情報の提供に努めるとともに、県民の課題解決を支援する図書館を目指します。
--------	--

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> レファレンス事例の公開や、レファレンス協同データベースを活用し、付加価値の高い情報発信を行います。 パスファインダーを作成して配布するとともに、ホームページに公開します。 資料検索端末やデータベース等の講習を実施し、利用者が自身で課題解決できるようサポートします。 県民の生涯学習支援の一環として、より多くの学習機会を提供するために、当館所蔵資料を活用した「みやぎ県民大学」等を実施します。 視覚障がい者や目で字を読むことが困難な方々に、視覚障害者情報総合ネットワーク「サビエ」を活用して、点字やデジータ等の情報を提供し、サービスの充実を図ります。 宮城県図書館情報ネットワークシステム(MY-NET)を更新し、よりわかりやすく、利用しやすいホームページの作成を目指し、利便性の向上を図ります。 県民の課題解決支援のための各種講座やイベント等について、ホームページやSNS、新聞等を活用し、常に最新の情報を提供します。
------	---

目標指標				
	初期値 (平成28年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)	達成率
レファレンス事例の公開累積数 (初期値との差)	944事例	1,260事例	1,918事例	308.2% 【ストック型】
講座参加率 (図書館使い方講座・みやぎ県民大学) (参加者数/定員)	50.9%	70.0%	73.3%	104.8% 【フロー型】



図書館使い方講座 22人 / 30人
 県民大学 0人 / 0人
 ※県民大学は動画配信による講座としたため、数値反映なし。

構成事業の実績	
事業名	実績
レファレンス事例の公開	<ul style="list-style-type: none"> 21,181件の調査相談を実施した。レファレンス協同データベースに、公開可能なものをレファレンス事例として260件登録した。公開事例は累計で1,918件となった。
パスファインダーの作成・公開	<ul style="list-style-type: none"> 調べ案内(パスファインダー)について、新たに5件の作成と4件の改訂を行うとともに、配布しホームページにも公開した。
図書館使い方講座	<ul style="list-style-type: none"> データベース講習会として、①使ってみよう！ジャパンナレッジ(辞書・事典の検索データベース)、②使ってみよう！新聞記事データベース、③使ってみよう！国立国会図書館デジタルコレクション、④使ってみよう！叡智の杜Web、⑤D1-law.com(法情報総合データベース)の5講座計10回を計画し、10回実施した。 ⑥本の探し方講座10回を計画し、3回実施した。 6種20回の講座合計30人の定員に対し、合計22人の参加があった。
図書館見学ツアー	<ul style="list-style-type: none"> 毎月第3土曜日に開催し、延べ92人の参加があった。 毎回参加者にアンケートを依頼しているが、「普段見ることのできない場所を見ることができて良かった。」などの好意的な意見が多かった。

事業名	実績
みやぎ県民大学	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくい動画配信(YouTube)による講座として開催し、4講座合計で300回以上視聴された。
ビブリオバトル	<ul style="list-style-type: none"> 7月23日(土)に開催し、パトラー(発表者)5名、オーディエンス(参加者)15名の参加があり、新しい本との出会いを通じて県民の図書館への関心を高め、利用促進を図った。
サピエ図書館サービス	<ul style="list-style-type: none"> 視覚障がい者や目で字を読むことが困難な方々に、視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」を活用して点字やDAISY資料等の情報を提供した。令和4年度は3件の利用があった。
「ことばのうみ」発行	<ul style="list-style-type: none"> 7月(72号)は、巻頭エッセイは(株)マイナビフットボールクラブ前代表取締役社長の粟井俊介氏、特集は「みやぎのスポーツを応援してみませんか」とした。 10月(73号)は、巻頭エッセイはモデル佐藤友紀乃氏、特集は「県制150周年記念 図書館資料からみるみやぎの明治時代」とした。 1月(74号)は、巻頭エッセイはセンダイガールズプロレスリング株式会社代表取締役の里村明衣子氏、特集は「ようこそ！子ども図書室へ！」とした。 年間8,000部発行し、県内外の利用者に当館の活動の広報を行った。
情報エントランスみやぎ	<ul style="list-style-type: none"> 1階エントランスを活用し、宮城県や他の外部機関と連携してパネル展示を行い、県民にさまざまな情報を提供している。21機関23回の利用実績があった。

自己評価	概ね順調
<p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> レファレンス事例の公開数は順調に伸び、目標値を上回っている。 県民参加型事業である「みやぎ県民大学」については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくい動画配信(YouTube)による講座として開催した。 <p>以上のことから、各事業の実施状況等を勘案し、本施策の方向性の評価は「概ね順調」と判断する。</p>	

課題
<ul style="list-style-type: none"> 図書館使い方講座等において、申込みがない回もあったため、広報の仕方について検討しなければならない。

対応方針
<ul style="list-style-type: none"> 図書館使い方講座等の参加者を募集して実施するものについては、開催時期や募集方法を検討し実施していきたい。

協議会委員意見
<ul style="list-style-type: none"> 「概ね順調」とした自己評価は「妥当」である。 「みやぎ県民大学」の動画配信は画期的である。新型コロナウイルスによって不可となるものだけでなく、むしろ可能になったこともある。新しい形で発信することも視野に入れると良い。 レファレンス事例や見学ツアー、動画配信など、多方面の活動は大変良いと思う。 視覚障がいのある方へのサービスは、サピエ図書館サービスや音訳サービス等があるが、聴覚障がいのある方との筆談やコミュニケーションの取り方など、障がいの種別に応じた研修もあっても良いのではないかな。 みやぎ県民大学の動画配信による講座の開催は、新型コロナウイルス感染防止の観点のみならず、会場に足を運びにくい方にも利便性の高い取組である。

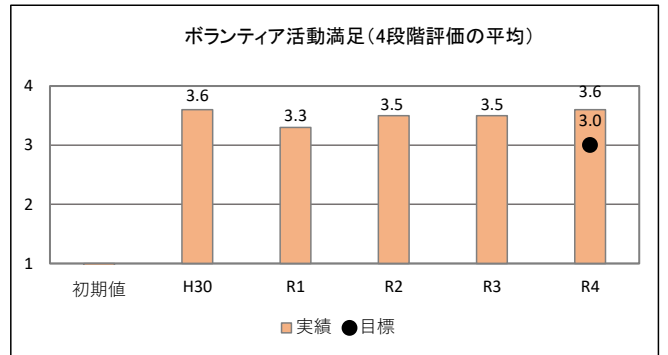
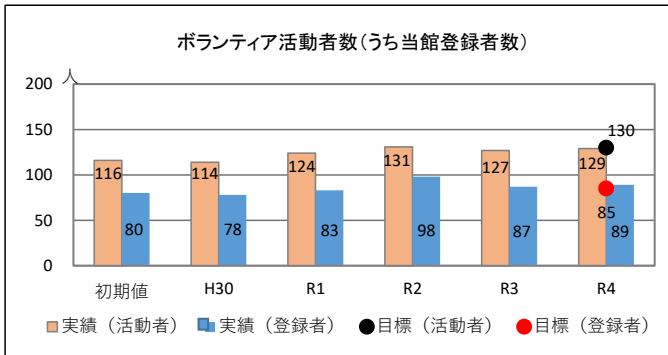
第3期宮城県図書館振興基本計画評価シート

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

施策の方向性	6 ボランティアの活躍の場を創り、その力を生かしたさまざまなサービスの提供を実施するとともに、ボランティア活動を支援します。
--------	--

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア登録により、書架整理・展示室等案内・音訳・蔵書点検等の活動分野において、職員やボランティア同士のコミュニケーションを図りながら活動を支援します。 ボランティア活動に必要な基礎的知識や技能を習得するための研修体制を充実させます。 当館ボランティア登録者以外についても、充実したボランティア活動ができるよう、生涯学習の一環として活動の場を提供します。
------	---

目標指標					
		初期値 (平成28年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)	達成率
ボランティア活動者数 (うち当館登録者数)	116人 [80人]	130人 [85人]	129人 [89人]	99.2% [104.7%]	【フロー型】
ボランティア活動満足 (4段階評価の平均)	—	3.0	3.6	120.0%	【フロー型】



構成事業の実績	
事業名	実績
ボランティア活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 書架整理、展示室等案内・音訳・市町村図書館等協力の各分野において、週1回2時間程度のボランティア活動の場を提供するとともに、活動のサポートを行った。 よみかせ活動については、活動団体を募集したところ、9団体40人の登録があり、子ども図書室にて活動した。
ボランティア講座	<ul style="list-style-type: none"> 全体研修会として「活動中に地震が発生したら」、「著作権の基礎知識」の2回実施したほか、活動分野ごとにサービス内容や技能習得のための養成講座や専門講座を30回実施し、延べ124人の参加があった。
よみかせ等研修会 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの読書環境を推進する担い手の育成とさらなる資質向上を目指し、おはなし会を行う際に必要なよみかせ等の基礎知識と技能の修得を図るため、年間9回研修会を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行いながら実施し、延べ165人が受講した。

自己評価	概ね順調
<p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しながらの活動となったものの、活動満足度は、目標を上回っている。 よみきかせ等研修会については、同様に感染症拡大防止の対策を行いながら、年間9回研修会を開催し、延べ165人が受講した。【再掲】 <p>以上のことから、各事業の実施状況等を勘案し、本施策の方向性の評価は「概ね順調」と判断する。</p>	

課題
<ul style="list-style-type: none"> 読書バリアフリー法に基づく視覚障がい者の方に対するサービスは、職員のみならずボランティアにも専門性が求められることから、サービスを実施できる知識と技能を備えたボランティアの確保が必要である。

対応方針
<ul style="list-style-type: none"> 音訳等のサービスについて、サピエや国立国会図書館(NDL)の視覚障がい者等用データ送信サービスなど、他館とのネットワークを活用するとともに、ボランティア活動に必要な研修等を実施していく。

協議会委員意見
<ul style="list-style-type: none"> 「概ね順調」とした自己評価は「妥当」である。

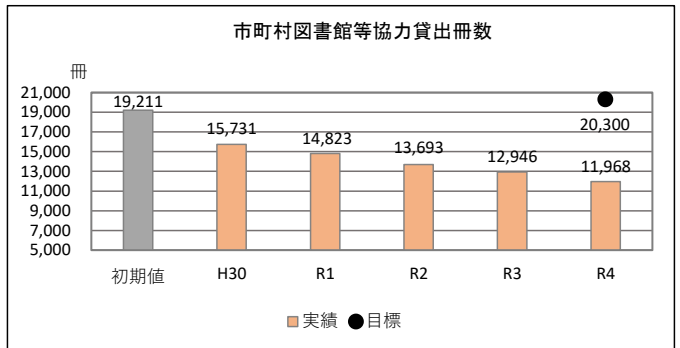
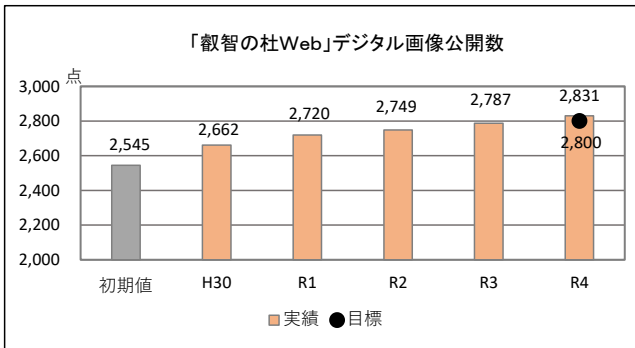
第3期宮城県図書館振興基本計画評価シート

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

施策の方向性	7 公平かつ長期的な視点に立ち、県民が必要とする資料を幅広く収集するとともに、適正に整理、保存し、有効活用を図ります。
--------	---

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料について県民のニーズを把握し、公平性、有効性を考慮し、特定の分野に偏ることなく、可能な限り幅広く収集するとともに、資料の更新・整備を行います。 ・ 関係機関等と連携しながら、当館所蔵資料を活用した展示等を行い、広く県民に公開します。 ・ 資料が利用者に活用される情報資源となるよう、文献リスト等の作成により付加価値の高い情報発信に取り組みます。 ・ 地域の課題等に対応した特集コーナーや展示により、資料の有効活用に取り組みます。 ・ 16ミリ映画フィルム等の点検、整備、適切な保存に努め、その利活用を図ります。
------	---

目標指標				
	初期値 (平成28年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)	達成率
「叡智の杜Web」デジタル画像公開数 (初期値との差)	2,545点	2,800点	2,831点	112.2% 【ストック型】
市町村図書館等協力貸出冊数 (再掲)	19,211冊	20,300冊	11,968冊	59.0% 【フロー型】



構成事業の実績		
事業名	実績	
図書館資料整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の幅広いニーズに応じられるよう資料の整備を行った。 ・ 郷土資料に関しては、資料の種類を問わず、幅広く収集を行うとともに、未所蔵の資料が見つかった場合は、購入や発行元へ寄贈の依頼を行い、積極的に収集した。 ・ 蔵書のバランスを見ながら、不足又は休刊が生じた分野の逐次刊行物については、新規購読誌を検討するなど計画的に収集を行った。また、宮城県関連の新聞だけでなく、全国紙も含めてマイクロフィルム資料の収集及び作成を行い、未収集部分については計画的な遡及収集も行った。 	
常設展・企画展開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当館資料を有効活用し、広く県民に公開した。26,933人の来室があった。 常設展「本と人の文化史ーアジア・日本を中心にー」、企画展①「東日本大震災文庫展ⅩⅦ『震災伝承：つたえつづけてゆく記憶』」、②「県制150周年記念図書館資料にみるみやぎの黎明」、③「みやぎのスポーツーマイナビ仙台レディーズ誕生までの歩みー」、④「公文書館点『あのひあのときこの宮城』」、⑤「東日本大震災文庫展13『図書館 復興のあゆみ』」を開催した。また、特別展「勤政庁絵図ーみやぎの夜明け前ー」を開催した。 	
協力業務運営事業 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内市町村図書館等への協力貸出を11,968冊、県外図書館等へ618冊貸出を行い、当館資料の活用を図った。また、行政支援サービスとして、県内関係機関2箇所に合計43冊の協力貸出を行った。 	
資料展示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所蔵している資料を用いて、各フロアで季節や社会の動向に応じた様々なテーマの展示(ミニ展示)を行った。 	

自己評価	概ね順調
<p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料整備に当たっては、県民の課題解決に必要とされる資料整備に努めた。 「叡智の杜Web」について、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、来館による閲覧が回復したためか、資料の画像へのアクセスは減少したが、郷土論文DBや地域資料DBなどへのアクセスは順調に伸びている。 協力貸出冊数については、新型コロナウイルス感染症の影響もあることから、減少傾向が続いている。令和4年度は、前年度から978冊減少した。【再掲】 <p>以上のことから、各事業を実施した状況を勘案し、本施策の方向性の評価は「概ね順調」と判断する。</p>	

課題
<ul style="list-style-type: none"> 資料(特に郷土資料)によっては、物理的に展示が難しいものがあるので、資料の公開など県民に還元するための活用方法を工夫する必要がある。

対応方針
<ul style="list-style-type: none"> 各担当で企画している展示については、それぞれの担当の専門性を活かし特色ある内容にするとともに、季節やイベント、地域の課題など、利用者の関心を高めニーズに応えるものになるよう努める。

協議会委員意見
<ul style="list-style-type: none"> 「概ね順調」とした自己評価は「妥当」である。 「施策の方向性1」と同様に、「協力貸出冊数」の減少傾向が続いており、県民のニーズを把握し有効活用を図るという施策の方向性に対し、さらに工夫・改善すべき点があるのではないかと。県全体の中央図書館としての役割を担っているという点からも「概ね順調」との評価には疑問が残る。 多様な情報資源があるため、収集・整理・保存・有効活用を長期的な視点で行うことは、なかなか簡単なものではないと想像できる。感謝申し上げる。 物理的に展示が難しい郷土資料について、デジタル化の推進によりWebで閲覧できるようにするなど、多くの方が見ることができるようになることは、検討すべき図書館共通の課題である。

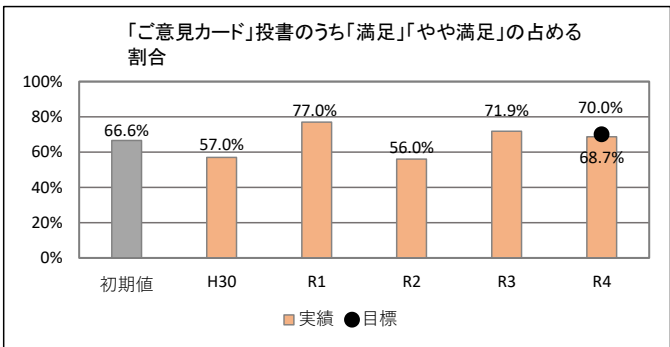
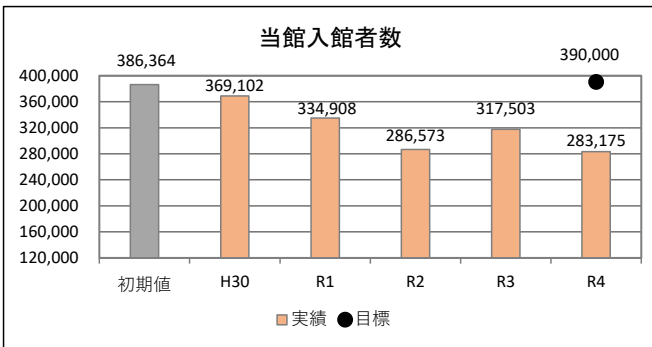
第3期宮城県図書館振興基本計画評価シート

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

施策の方向性	8 安全安心な施設の維持に努め、県民が利用しやすい環境整備を推進します。
--------	--------------------------------------

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 当館の施設設備を適切に維持管理し、県民が快適な環境のもとで利用できるようにします。また、施設の老朽化や書庫の狭隘化対策について、10カ年の整備計画を立てるとともに、大規模な増改築を伴う改修等、中長期的な環境整備についても検討していきます。 職員のサービス向上と利用者のマナーアップ推進を図り、キャンペーン活動を実施し、利用しやすい環境づくりを行います。 「ご意見カード」や利用者から寄せられた意見をもとに、適宜、改善や考慮すべき事項の見直しを行います。
------	--

目標指標					
	初期値（平成28年度）	目標値（令和4年度）	実績値（令和4年度）	達成率	
当館入館者数	386,364人	390,000人	283,175人	72.6%	【フロー型】
「ご意見カード」投書のうち「満足」「だいたい満足」の占める割合	66.6%	70.0%	68.7%	98.1%	【フロー型】



構成事業の実績	
事業名	実績
図書館管理運営事業 (施設管理に関すること)	<ul style="list-style-type: none"> 経年劣化による電源基盤不具合のため、稼働不能となった空調設備の中央監視装置更新工事を昨年度から継続実施し、完了した。 令和4年3月に発生した福島県沖地震による災害復旧工事に係る設計業務委託を実施した。また、実施設計に基づき、建物外壁、内壁及び天井等のひび割れ、書架、誘導灯等の復旧工事及び小型電気温水器、ゴンドラ梯子の修繕を実施した。 火災発生時における重要文化財(美術工芸品)等の保全のため設置している超感度煙検知器システム、非常放送スピーカー及び自家発電設備等の消防設備の改修工事を実施した。 書見の道(南側遊歩道)の階段や園路の枕木が老朽化したため、改修工事を実施した。 電動書架の駆動モーター軸部が劣化しているため、駆動モーターの修繕を実施した。 俯仰モーター、ケーブル等が経年劣化したため、ゴンドラ設備の改修工事を実施した。 消防設備点検に基づく不良箇所の消防設備の改修工事を実施した。 改修推奨時期が到来している第1第2電気室及び非常用発電機に係る受変電設備改修工事の設計業務委託を実施した(令和5年度工事実施)。
サービス向上マナーアップキャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> 読書週間(10/27~11/30)に合わせたイベントとして開催した。県内の公立図書館等にも情報提供し、作成したポスターについても、活用を促した。今回のポスターについては、利用者に館内で守ってほしいことを問いかける表記にしたことで、利用者の目を引くことができた。また、図書館資料の取扱いの注意喚起を企図した展示については、多くの利用者が興味深く見学しており、利用者のマナーを啓蒙するための良い契機となった。

自己評価	概ね順調
<p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化した施設設備の更新・改修において、施設設備に係る維持修繕工事計画に基づき計画的に実施するとともに、新たに発生したものについては、主務課と情報共有を図りながら対応を図った。 ・ サービス向上マナーアップキャンペーンは、図書館の利用に際してのマナーやルールを訴えるとともに、職員の県民サービスへの向上意識に繋げることができた。 ・ 「ご意見カード」に占める「満足」「だいたい満足」の占める割合は、68.7%となっており、好評が得られている。 ・ 寄せられた意見は、現状を確認し、必要な改善や見直しを行い、図書館サービスの充実に努めた。 ・ そのほか、福島県沖地震の発生による被害について、災害復旧工事を計画のとおり施工し完了することができた。 <p>以上のことから、各事業を実施した状況等を勘案し、本施策の方向性の評価は「概ね順調」と判断する。</p>	

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 開設以来25年が経過していることから、施設及び設備の老朽化については、長期的・計画的に対応していく必要がある。 ・ 老朽化により新たな修繕箇所・更新箇所が発生している。

対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設整備の長寿命化に向け維持修繕工事計画を策定しており、定期的に見直しを図りながら、施設・設備を適切に改修することや更新を実施していく。 ・ 施設及び設備の日常的・定例的な点検を通して、修繕箇所・更新箇所を把握していく。 ・ 予算確保に向け、関係課と情報共有を図りながら、迅速かつ適切に実施していく。

協議会委員意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「概ね順調」とした自己評価は「妥当」である。

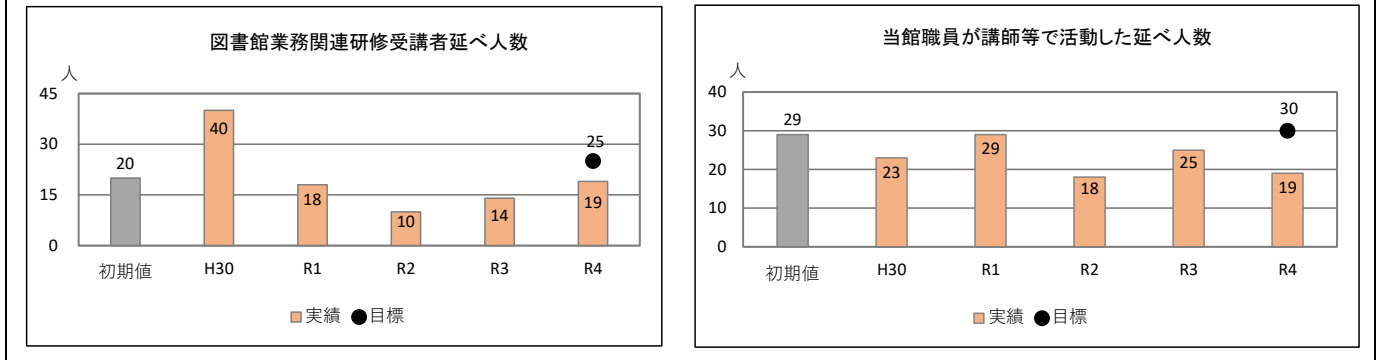
第3期宮城県図書館振興基本計画評価シート

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

施策の方向性	9 組織運営の強化に取り組むとともに、創造性豊かで自主的に行動する人材を育成します。
--------	--

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 図書館サービスのさらなる充実を目的として、各種研修会等に積極的に参加し、職員の資質・能力向上に努めます。 専門職員の採用も含めた人材の確保と計画的なジョブ・ローテーションによりさまざまな業務を経験・習得させるとともに、他の組織・機関への派遣研修や人事交流等も検討し、より高度な人材の育成に努めていきます。
------	---

目標指標																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>初期値（平成28年度）</th> <th>目標値（令和4年度）</th> <th>実績値（令和4年度）</th> <th>達成率</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館業務関連研修受講者延べ人数</td> <td style="text-align: center;">20人</td> <td style="text-align: center;">25人</td> <td style="text-align: center;">19人</td> <td style="text-align: center;">76.0%</td> <td style="text-align: center;">【フロー型】</td> </tr> <tr> <td>当館職員が講師等で活動した延べ人数</td> <td style="text-align: center;">29人</td> <td style="text-align: center;">30人</td> <td style="text-align: center;">19人</td> <td style="text-align: center;">63.3%</td> <td style="text-align: center;">【フロー型】</td> </tr> </tbody> </table>		初期値（平成28年度）	目標値（令和4年度）	実績値（令和4年度）	達成率		図書館業務関連研修受講者延べ人数	20人	25人	19人	76.0%	【フロー型】	当館職員が講師等で活動した延べ人数	29人	30人	19人	63.3%	【フロー型】
	初期値（平成28年度）	目標値（令和4年度）	実績値（令和4年度）	達成率															
図書館業務関連研修受講者延べ人数	20人	25人	19人	76.0%	【フロー型】														
当館職員が講師等で活動した延べ人数	29人	30人	19人	63.3%	【フロー型】														



構成事業の実績	
事業名	実績
図書館管理運営事業 (組織運営及び人材育成に関すること)	<ul style="list-style-type: none"> オンラインを含む各種研修会や専門講座の受講、講師の派遣を行った。
公共図書館等職員研修 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> 市町村図書館等職員・学校司書等を対象とした研修会を4回実施し、知識と技能の習得を図った。受講者数については、延べ144人の参加があった。 参加者アンケートでは、4段階評価で平均3.5の評価を得た。
出前講座 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> 市町村図書館等業務の専門的知識習得と技術力向上を支援するため、5市町の研修会等に当館職員を6回派遣した。

自己評価	概ね順調
<p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オンラインを活用した研修会に対応するため、職員が創意工夫し、オンライン視聴環境の整備を図った。 ・ 職員が研修会等に参加するだけでなく、機会を捉えて研修の講師となることや研修の企画に携わることで、資質能力の伸長を図ることができた。 ・ 公共図書館等職員研修については、第1回研修会を初任者層を対象にオンライン形式で実施し、以降の研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行いながら、集合形式によって実施した。【再掲】 ・ 集合形式での実施に当たり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから、定員を設けて開催したことによって、参加者数は減少(令和3年度比647人減)したものの、実習を含め、遠隔研修ではできない研修を実施し、受講者からも好評を得ることができた。【再掲】 <p>以上のことから、各事業を実施した状況を勘案し、本施策の方向性の評価は「概ね順調」と判断する。</p>	

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交代制勤務の特殊性から、研修会等への参加や講師の依頼を見送ることがないよう、職員が研修に参加しやすい職場環境を整えることが重要である。

対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・ 班長が中心となり業務の調整を適切に実施することで、職員が気兼ねなく研修等に参加できる機会を確保し、人材育成に努める。 ・ 研修会の講師となることは自己の研鑽に繋がるため、講師等派遣等の要請に当たっては、研鑽の面からも適切な職員を選出し経験の積み上げを促していく。

協議会委員意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「概ね順調」とした自己評価は「妥当」である。 ・ 人材育成面での研修会等への参加や講師派遣は行われているが、振興基本計画に係る外部評価の遅滞が発生しており、組織的な進行管理に課題が残ったと言えるのではないか。「評価の総括」にも言及されておらず、「組織運営の強化に取り組む」という点で「概ね順調」との評価に疑問が残る。 ・ 研修のタイトルなどの一覧があると良い。 ・ オンライン研修と集合研修の違いやテーマなどに具体的に触れても良いのではないか。

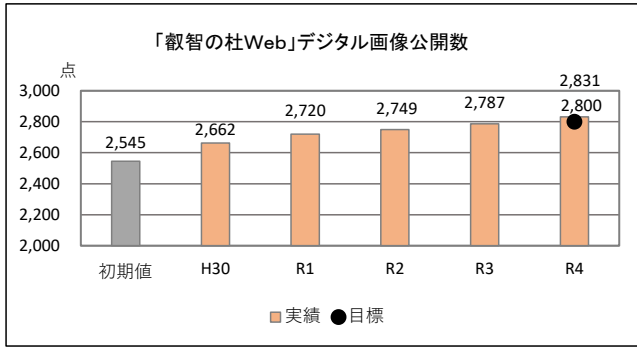
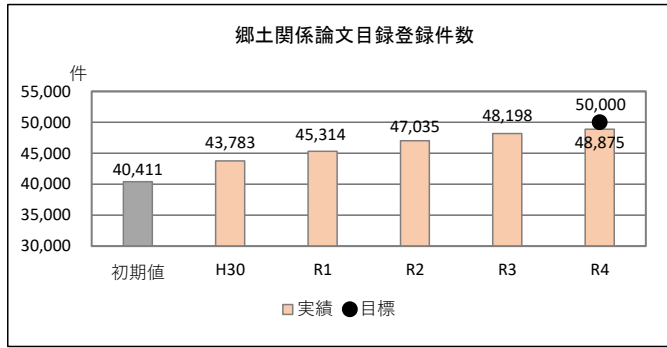
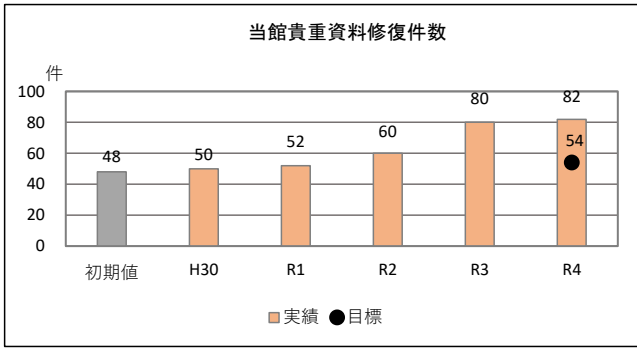
第3期宮城県図書館振興基本計画評価シート

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

施策の方向性	10 宮城の郷土資料を後世に伝えるため、収集・保存や修復を行うとともに、利活用の促進を図ります。
--------	--

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮城県に関する資料は、網羅的な収集に努めます。 ・ 必要な資料の修復や複製資料(デジタルデータ)の作製等を行い、適切な長期保存と活用に努めます。 ・ 「叡智の杜Web」で文献情報や貴重資料のデータ画像を公開し、利活用を促進します。
------	---

目標指標																																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 35%;"></th> <th style="width: 15%;">初期値(平成28年度)</th> <th style="width: 15%;">目標値(令和4年度)</th> <th style="width: 15%;">実績値(令和4年度)</th> <th style="width: 20%;">達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当館貴重資料修復件数</td> <td>48件</td> <td>54件</td> <td>82件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(初期値との差)</td> <td></td> <td>6件</td> <td>34件</td> <td>566.7% 【ストック型】</td> </tr> <tr> <td>郷土関係論文目録登録件数</td> <td>40,411件</td> <td>50,000件</td> <td>48,875件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(初期値との差)</td> <td></td> <td>9,589件</td> <td>8,464件</td> <td>88.3% 【ストック型】</td> </tr> <tr> <td>「叡智の杜Web」デジタル画像公開数</td> <td>2,545点</td> <td>2,800点</td> <td>2,831点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(初期値との差)(再掲)</td> <td></td> <td>255点</td> <td>286点</td> <td>112.2% 【ストック型】</td> </tr> </tbody> </table>		初期値(平成28年度)	目標値(令和4年度)	実績値(令和4年度)	達成率	当館貴重資料修復件数	48件	54件	82件		(初期値との差)		6件	34件	566.7% 【ストック型】	郷土関係論文目録登録件数	40,411件	50,000件	48,875件		(初期値との差)		9,589件	8,464件	88.3% 【ストック型】	「叡智の杜Web」デジタル画像公開数	2,545点	2,800点	2,831点		(初期値との差)(再掲)		255点	286点	112.2% 【ストック型】
	初期値(平成28年度)	目標値(令和4年度)	実績値(令和4年度)	達成率																																
当館貴重資料修復件数	48件	54件	82件																																	
(初期値との差)		6件	34件	566.7% 【ストック型】																																
郷土関係論文目録登録件数	40,411件	50,000件	48,875件																																	
(初期値との差)		9,589件	8,464件	88.3% 【ストック型】																																
「叡智の杜Web」デジタル画像公開数	2,545点	2,800点	2,831点																																	
(初期値との差)(再掲)		255点	286点	112.2% 【ストック型】																																



構成事業の実績	
事業名	実績
図書館貴重資料保存修復事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「陸奥国仙台領元禄国絵図関係資料」のうち「[陸奥国仙台領図絵図]」を2ヵ年計画で修理しており、1年目が終了し計画どおりに進行中である。県指定文化財2点の修理も完了した。修理後、デジタル撮影を行い、デジタル画像は当館ホームページ「叡智の杜Web」で公開した。
図書館和古書複製作製事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画どおり「皇国地誌」の附図から陸前国加美郡のデジタル撮影を行って、デジタル画像を作製した。作製後は当館ホームページ上の「叡智の杜Web」で公開した。

事業名	実績
図書館資料整備事業（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の幅広いニーズに応じられるよう資料の整備を行った。 ・ 郷土資料に関しては、資料の種類を問わず、幅広く収集を行うとともに、未所蔵の資料が見つかった場合は、購入や発行元へ寄贈の依頼を行い、積極的に収集した。 ・ 蔵書のバランスを見ながら、不足又は休刊が生じた分野の逐次刊行物については、新規購読誌を検討するなど計画的に収集を行った。また、宮城県関連の新聞だけでなく、全国紙も含めてマイクロフィルム資料の収集及び作成を行い、未収集部分については計画的な遡及収集も行った。

自己評価	順調
------	----

理由

- ・ 構成事業について、計画どおり事業が進行している。
- ・ 資料整備に当たっては、県民の課題解決に必要とされる資料整備に努めた。【再掲】

以上のことから、目標指標の達成度状況は順調に積み上がっており、本施策の方向性の評価は「順調」と判断する。

課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重資料保存修復及び和古書複製の件数は、今のところ計画どおりである。 ・ 和古書複製作製事業については、未だ多数ある未撮影の資料には劣化が進んでいるものや希少な資料、利用頻度が高いにもかかわらず代替資料がないものや代替資料自体が劣化しているものも含まれている。資料的価値が損なわれないよう、複製の作製ペースを保つことが課題である。 ・ 貴重資料修復事業については、長期的に事業を継続できるよう、引き続き主務課及び関係課との連携が必要である。
--

対応方針

<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重資料の適切な修復・保存について、関係課と連携を図り、国の補助事業を活用し長期的・計画的に取り組む。 ・ デジタル撮影による複製作製については、計画的に進めるとともに関係機関の協力を得ながらデジタル化を加速できる機会を捉えて、撮影点数及び画像公開数を増加させるよう努める。 ・ 展示等での利活用に努め、貴重資料の保存修復の重要性のPRを継続する。
--

協議会委員意見

<ul style="list-style-type: none"> ・ 「順調」とした自己評価は「妥当」である。 ・ 長い時間を掛けて資料を修復していただいているので、これを活用する事業の仕掛けとして、学校教育の中で郷土資料に触れ、宮城を知ることによって、故郷を大切に思う大人に成長させたいと感じた。 ・ 郷土資料の保存修復が順調に進んでいることは素晴らしいと思う。

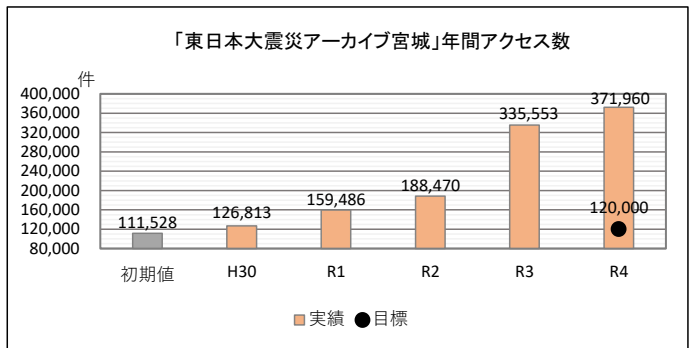
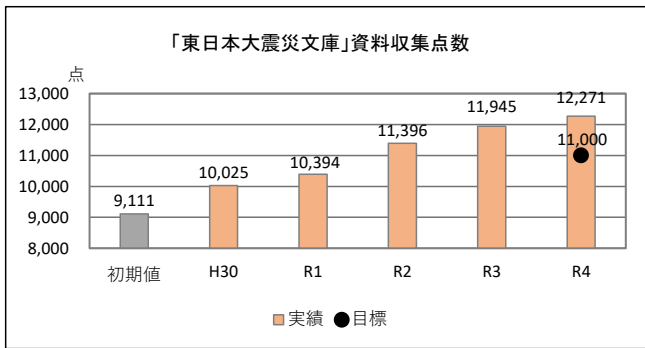
第3期宮城県図書館振興基本計画評価シート

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

施策の方向性	1 1 東日本大震災の記録を収集し、永く後世に引き継ぐための取組を行います。
--------	--

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 震災に関する貴重な記録が失われる前に、県全域を対象として震災関係資料を収集することが求められていることから、「東日本大震災文庫」のより一層の充実を図り、購入可能な資料にとどまらず、非売品や希少性の高い資料を含めた幅広く網羅的な資料の収集に努めます。 震災関連資料を防災・減災に生かすために県内全市町村と連携・協力して構築した「東日本大震災アーカイブ宮城」の管理及び運用を行います。また、連携市町村と設置した「東日本大震災アーカイブ宮城管理運営協議会」と協力しながら、利活用の促進及び公開コンテンツの充実を図ります。 被災した市町村図書館等に対し、中長期的な将来を見据えた運営に配慮した支援を行います。また、震災に関する情報交換や経験共有のために研修会等を通じて、震災から得られた各図書館の経験知を他の図書館の業務に役立ててもらうなど、県全域の市町村図書館等の復興に向けた取組に対して支援を行います。
------	---

目標指標				
	初期値（平成28年度）	目標値（令和4年度）	実績値（令和4年度）	達成率
「東日本大震災文庫」資料収集点 (初期値との差)	9,111点	11,000点	12,271点	167.3% 【ストック型】
「東日本大震災アーカイブ宮城」年間アクセス数	111,528件	120,000件	371,960件	310.0% 【フロー型】



構成事業の実績	
事業名	実績
東日本大震災資料の収集	<ul style="list-style-type: none"> 購入資料の収集は東日本大震災から年数が経つにつれ減少傾向だが、寄贈資料の収集や整理が進んだため、収集数としては平成28年度から3,160点増の12,271点（うち図書6,373冊、雑誌2,096冊、視聴覚189点、チラシ3,586点、新聞27紙）増加した。
東日本大震災関連資料保存継承・公開事業	<ul style="list-style-type: none"> 6月に開催された県の震災伝承施策に関する説明会に出席し、アーカイブ宮城の広報活動を行った。 アーカイブ宮城の使い方・活用方法を説明した「利活用マニュアル」を8月にアーカイブ宮城のサイトに掲載した。 3月開催の仙台防災未来フォーラムでブースを出展し、広報活動を行った。
被災した市町村図書館等の復興支援（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> 「令和4年3月16日発生福島県沖を震源とする地震」の被災状況を確認し、支援等のため、3館に延べ3人派遣した。
ハーバード大学との連携	<ul style="list-style-type: none"> 東北大学災害科学国際研究所が研究の一環として取り組む、東日本大震災アーカイブ宮城の英語化を進めるために、資料情報（メタデータ）の見直しや修正を行っている。

自己評価	順調
<p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災文庫の資料収集については、購入・寄贈資料の整理が進んだ。 東日本大震災アーカイブ宮城についても未公開資料・資料情報(メタデータ)の整理が進み、アクセス数が増加傾向にある。 <p>以上のことから、目標指標の達成状況及び実績を勘案し、本施策の方向性の評価は「順調」と判断する。</p>	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災文庫及び東日本大震災アーカイブ宮城は、震災から一定の期間が経過し、当時の資料やコンテンツの提供が減少している。 未公開となっている資料について、権利許諾の有無を確認しながら整理していく必要がある。 	
<p>対応方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災文庫及び東日本大震災アーカイブ宮城については、引き続き当時の震災関連資料に関する情報入手に努めるとともに、被災地の現在の状況や報道記事など今後も資料の収集を継続していく。 未公開となっている資料の権利許諾については、引き続き確認作業を行い整理していく。 	
<p>協議会委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 「順調」とした自己評価は「妥当」である。 東日本大震災の資料収集、保存、活用は重要である。東日本大震災以降に発生した福島県沖地震など、震災と関連付けられる資料の収集も必要になるのではないかと。 	

4 令和4年度の点検及び評価の総括について

第3期宮城県図書館振興基本計画に基づき、令和4年度の取組を点検し、当該計画で設定した施策の方向性ごとに、その進捗状況を評価しました。

数値的判断として設定した各目標指標に対する達成率と、施策ごとの構成事業の取組実績をもとに自己評価した結果、「順調」が2件、「概ね順調」が6件、「やや遅れている」が3件、「遅れている」と判断したものは、0件でした。

この評価に係る外部評価として、宮城県図書館協議会に諮問し、自己評価の内容やその判断に至った理由、課題などを報告し、進捗に遅れがある施策については、原因を究明の上、工夫・改善に取り組む必要があることなど、様々な視点からご意見をいただきました。

今後は、第4期宮城県図書館振興基本計画へ移行することとなりますが、第3期における施策や取組の課題について、改善に努めながら、さらに図書館の振興を図ってまいります。また、引き続き、図書館を取り巻く社会的な環境の変化に対応し、市町村図書館等との連携・協力関係をとおして、宮城県民の読書活動の促進と生涯学習活動の推進に努めてまいります。

第3期宮城県図書館振興基本計画における評価結果一覧

施策の方向性 1				
平成30年度事業	令和元年度事業	令和2年度事業	令和3年度事業	令和4年度事業
概ね順調	概ね順調	概ね順調	やや遅れている	やや遅れている
施策の方向性 2				
平成30年度事業	令和元年度事業	令和2年度事業	令和3年度事業	令和4年度事業
概ね順調	概ね順調	概ね順調	順調	概ね順調
施策の方向性 3				
平成30年度事業	令和元年度事業	令和2年度事業	令和3年度事業	令和4年度事業
概ね順調	やや遅れている	概ね順調	概ね順調	やや遅れている
施策の方向性 4				
平成30年度事業	令和元年度事業	令和2年度事業	令和3年度事業	令和4年度事業
概ね順調	概ね順調	概ね順調	やや遅れている	やや遅れている
施策の方向性 5				
平成30年度事業	令和元年度事業	令和2年度事業	令和3年度事業	令和4年度事業
概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
施策の方向性 6				
平成30年度事業	令和元年度事業	令和2年度事業	令和3年度事業	令和4年度事業
概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
施策の方向性 7				
平成30年度事業	令和元年度事業	令和2年度事業	令和3年度事業	令和4年度事業
概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
施策の方向性 8				
平成30年度事業	令和元年度事業	令和2年度事業	令和3年度事業	令和4年度事業
概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
施策の方向性 9				
平成30年度事業	令和元年度事業	令和2年度事業	令和3年度事業	令和4年度事業
概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
施策の方向性 10				
平成30年度事業	令和元年度事業	令和2年度事業	令和3年度事業	令和4年度事業
順調	順調	順調	順調	順調
施策の方向性 11				
平成30年度事業	令和元年度事業	令和2年度事業	令和3年度事業	令和4年度事業
概ね順調	順調	順調	順調	順調